

アンケート調査結果から 見えてきた 「こおりやま創生」 への課題

— 郡山市 政策開発課 —

アンケートの概要

- ・実施方法 郵送による配布・回収
- ・実施期間 7月24日～8月10日
- ・回収状況

調査種別	配布数	回収数	回収率
A.就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査	1,500	411	27.4%
B.転入者アンケート調査	200	45	22.5%
C.転出者アンケート調査	300	73	24.3%

目次

No	「こおりやま創生への課題」
1	結婚に関する意識からみた課題【子どもを育てやすい理想の家族のあり方について】
2	結婚に関する意識からみた課題【結婚したい独身者が結婚できる環境づくりに向けて】
3	出産・子育てに関する意識からみた課題【子どもを持ちたい人が理想の子ども数を実現できる環境づくりに向けて】
4	人口の流出抑制、転入者増加に向けた課題【ライフステージごとに居住継続が選択肢となるような取り組みが課題】
5	しごと・働き方に関する意識からみた課題【郡山市で住み続けるための必須条件としての職場の確保】
6	人口の流出抑制、転入者増加に向けた課題【転入者増加に向けた新たな取り組みが課題】

1.結婚に関する意識からみた課題

【子どもを育てやすい理想の家族のあり方について】

課題

働きながら複数の子どもを育てていく場合、祖父母等との同居もしくは近居により、親族の手助けを得ないと難しい。
親と子の核家族世帯を理想とするものの……

今後とも三世代同居・近居のニーズは強いものと考えられる

対策

高齢者が最近の子育て事情や育児環境の変化について学ぶことができる機会の提供やネットワークづくり

参考：就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査
(Q3 理想の家族の住まい方とは、Q19 親族の育児の関わり方)

3

2.結婚に関する意識からみた課題

【結婚したい独身者が結婚できる環境づくりに向けて】

課題

キャリア形成と結婚のタイミングがマッチしないため、婚期を逃してしまう人が多くなっている。

結婚したい人が結婚できない状況を少しでも改善していく取り組みは？

対策

- 若年層のワークライフバランスの見直し
- 出会いの機会の増加(各年代に合った内容が必要)
 - ・市民同士の出会いの提供
 - ・観光誘客を通して東京圏等居住者との交流による出会いの場

参考：就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査
(Q8 独身の理由)

4

3. 出産・子育てに関する意識からみた課題 【子どもを持ちたい人が理想の子ども数を実現できる環境づくりに向けて】

課題

- ・理想の子ども数を実現するため、働きながら子育てしやすい環境づくりが必要。
- ・制度面の整備は整っているが、活用しやすい環境となっていない。



対策

一人目の出産

- ・妊活に対する支援
- ・職場の環境づくりに向けた啓発活動
- ・晩婚化を食い止める結婚支援



二人目以降の出産

- ・子育てや教育にかかる費用面での不安軽減
- ・放課後学習支援活動の充実による学校外学習に関するコスト不安軽減

参考：就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査
(Q16 理想の子ども数を持つのが難しい理由、Q17 理想の子ども数に近づくために必要なこと、Q20 子育てに関する悩み・不安)

5

4. 人口の流出抑制、転入者増加に向けた課題 【ライフステージごとに居住継続が選択肢となるような取り組みが課題】

① 大学進学・高卒就職時

【課題】

- ・進学先が十分でない
- ・ニーズに合った就職先がない



【対策】

- ・就職に繋がる資格取得のしやすい環境づくり
- ・高卒女性が働きやすい職場の創出

② 大学卒業・就職時

【課題】

- ・条件に合う職場がない
- ・東京圏等へ就職の為流出



【対策】

- ・企業誘致等による環境整備

③ 結婚・住宅取得時

【課題】

- ・結婚による女性の転入発生
- ・晩婚化・非婚化により以前ほどの転入が見込めない



【対策】

- ・結婚支援による市内での結婚
- ・移住者への住宅斡旋

参考：就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査
(Q26 市外に進学希望する理由、Q30 市外で働きたい理由、Q32 Uターンに必要なこと)

6

5.しごと・働き方に関する意識からみた課題 【郡山市で住み続けるための必須条件としての職場の確保】

【郡山市で住み続けるための必須条件としての職場の確保】

課題

- ・女性に対して働きやすい職場を提供できていない。
⇒市内での居住継続を諦める一因

対策

- ・女性のライフステージに応じ、働き続けることができる環境づくり

効果

- ・潜在的Uターン希望者の転入

参考: 就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査
(Q26 市外に進学希望する理由、Q30 市外に働きたい理由、Q32 Uターンに必要なこと)

7

6.人口の流出抑制、転入者増加に向けた課題 【転入者増加に向けた新たな取り組みが課題】

アンケート調査から本市の転入者は再転入(Uターン)と新規転入が6:4の構成

転入者増加に向けてUターン促進と新規転入促進の両面に取り組むことが必要

Uターンの促進

課題

地元に戻りたい若者が戻れる雇用の創出・就職のあっせん

対策・効果

若い市民の結婚が増えれば転入者の増加につながる
⇒結婚支援も効果的な人口減少対策

新規転入の促進

課題

結婚や就職・転勤以外の理由で地縁・血縁のない人が転入することは少なかった

対策・効果

都市的な環境と自然豊かな農村部が共存している本市の魅力発信
⇒潜在的な移住希望者の発掘

参考: 転入者・転出者アンケート調査
(Q12 転入の理由、Q16 郡山市に住んでみて良かった点、Q12 転出の理由、Q17 郡山市に住んでいて不満だったこと)

8